

2021 年 5 月 8 日

社会福祉法人 悠久会

令和 2 年度 SDGs 活動報告



島原むすびすの取り組み

地産地消・地域活性化

島原半島産の食材にこだわったメニューを提供。地産地消と障害者雇用への取り組みを推進。環境問題にも積極的に取り組んでいます。また、直近では半島で活躍している若手人材とパートナーシップを組み新メニューの販売を通して地域の活性化にも力を入れております。

-----【環境保全に関わる活動】-----

弁当容器を紙製に変更

弁当プラ容器 1個あたり約16グラム

容器を変更したR2年6月～R3年3月までに2,302個の弁当を販売。

36,832グラムのプラスチック使用（ゴミ排出）を削減できた。



ソフトドリンク提供時のストローをプラ製から植物由来のバイオマスストローに変更。

プラスチックストロー 10本あたり約8グラム

ストローを変更したR2年5月～R3年3月までに90個のドリンクを販売。

約72グラムのプラスチックの使用（ゴミ）を削減できた。

スプーンを木製に変更

プラスチックスプーン1本あたり約5グラム

木製スプーンに変更したR2年11月～R3年3月までに716杯の

スプーン付きのスープを販売。

約3,580グラムのプラスチック使用（ゴミ）を削減できた。

ホットコーヒー提供時のカップをプラスチック製のフタが不要なバタフライカップに変更

珈琲プラスチック フタ1個あたり約2.4グラム

カップを変更したR2年11月～R3年3月までに71杯のコーヒーを販売。

約170グラムのプラスチック使用（ゴミ）を削減できた。



目標8 働きがいも経済成長も

目標12 つくる責任 つかう責任

目標13 気候変動に具体的な対策を

目標14 海の豊かさを守ろう

目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

銀の星学園の取り組み

太陽光発電システム運用

現在、売電は行っておらず発電された電力については法人内で消費しています。

長崎県島原市（緯度 32° 44'、経度 129° 52'）における当法人の太陽光発電システム（発電容量 29.07kW、太陽電池容量 325.84kW）の場合、年間約 28,940kWh の発電量が期待できます。

CO2 換算では、およそ 15,671kg (JPEA 発行)。森林面積換算は 4.39ha (NEDO 発行)。原油節約換算は 6,569L (JPEA 発行) となります。

目標 7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

目標 13 気候変動に具体的な対策を

業務用生ごみ処理機「バイオクリーン」導入（2020 年 12 月～）

処理機導入後、3ヶ月間で 414.114 キロの生ゴミが 61.358 キロの堆肥となった。約 15% の重量となり、ゴミの減量化が確認できました。

堆肥は地域の方へ無償で配布し、畑や園芸の用途でご利用いただけます。

CO2 の排出量について

導入時に期待しておりました CO2 の排出量削減効果についてですが、微生物が分解する際に排出される CO2 と電気使用による排出が考えられることから、CO2 削減効果は薄いと考えられます。

処理機導入効果

- (1) ごみを資源として地域で有効活用。
- (2) ごみの減量化ができる。生ごみが減少することで悪臭軽減・衛生的。
- (3) 処理機に使用されている菌が温室効果ガスのなかでも特に強力とされる亜酸化窒素の発生を抑え環境負荷の削減効果が大きい。

目標 12 つくる責任 つかう責任

若菜寮の取り組み

湧水を地域に開放

若菜寮の施設玄関前に湧水・池を設置し地域の皆様の交流の場として開放している。

自由に利用していただけるよう看板を設置し、生活のための水汲み場として、ときには子ども達の水遊びの場として沢山の方が水場に訪れていただいている。



いつでも皆様が安全にご利用いただけるよう悠久会では定期的に水質検査を実施しています。

目標 8 安全な水とトイレを世界中に

島原半島 BYE BYE Plastic ! プロジェクト始動

本プロジェクトは、悠久会と NPO 法人蒼ノ扉との協働事業です。

「脱プラスチック」そして「ゴミを出さない生活スタイル」へ一步踏み出すアクションを起こしていくことを目的としたプロジェクト。

島原半島のビーチクリーン活動をはじめ、レジ袋削減に貢献すべく「買い物バック」の製作＆販売を開始しました。



2020年5月

- バックの生地にペットボトル再生記事を採用。

2020年6月

- 第1回 障がい者向けアートワークショップ開催。
- 作品テーマは、みんなのちきゅうを描いてみよう！

2020年7月

- ビーチクリーン 島原半島 猛島海岸清掃実施
- 第2回 障がい者向けアートワークショップ開催。
- 作品テーマは、BYE BYE Plastic!のロゴを描いてみよう。



2020年9月

- World Cleanup Day in 島原 地域清掃実施。
- プロジェクトのロゴマークデザインが決定。利用者が描いた作品を原画につくられました。
- サイズアウトした子供服を島原市内の保育園で募集。子供服からバックにつけるリボンを製作。



2020年10月

- プリントワークショップ開催。利用者の方々と一緒にシルクスクリーンでバック生地にプリント。



2021年2月

- エコバック販売開始。販売サイトをはじめ、各種イベントでの販売を予定しています。



目標 8 働きがいも経済成長も

目標 12 つくる責任 つかう責任

目標 13 気候変動に具体的な対策を

目標 14 海の豊かさを守ろう

目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう